



月刊・伊藤ひろたかの 1分でわかる市政レポート

伊藤ひろたか事務所 〒226-0003 緑区鴨居3-3-2 川端ビル1F ホームページ: <http://hiro-chan.net>
TEL & FAX 935-7850 e-mail: voice@hiro-chan.net(PC) hero1001@ezweb.ne.jp(携帯)

校庭の芝生化に必要なもの

11月、常任委員会による行政視察で福岡市などを訪問しました。目的は校庭の芝生化の取り組みに関する意見交換等。校庭の芝生化は横浜市でも多くの人から「ぜひ、実現して欲しい」と言われます。しかし、実際にはなかなか導入が進みません。その理由と今後の在り方を報告します。

鳥 取方式という言葉をご存知でしょうか？全国の小学校で始まりつつある芝生の導入方式です。鳥取県が発祥の地であることから、「鳥取方式」と呼ばれています。最大のメリットはコスト。芝生の価格が非常に安いのです。1平米で160円。

し かも、鳥取方式で使用する芝はティフトンという傷みに強い特性を持っていますので、学校の校庭に向いているのです。仮に芝がはがれても、前述の通り、芝生は安いですから、その部分だけ養生すればいいのです。校庭の芝生化を先駆的に進めている鳥取県では既に小学校の8割が芝生の校庭に切り替わっています。

い いことづくめに見える鳥取方式。なぜ、横浜市では広まらないのでしょうか？そのヒントが視察先の福岡市にありました。一言でいうと「日本に芝生の文化がないから」。福岡市では、Jリーグのアビスパ福岡が教育委員会と協

力し校庭の芝生化に取り組んでますが、やはりカベは厚いと言います。例えば、小学校の校庭を利用している一部のスポーツ団体から芝生化に反対されるそうです。「土のグラウンドを前提にルールが決まっている」。

管 理の問題もあります。水道代が1校当たり年間100万円。市内には約400校の小中学校があるため4億円。さらに生徒一人当たりの校庭面積が狭いのも課題。つまり校庭における生徒の密度が高いため、その分、芝の傷みが早くなります。丈夫な芝とはいえ、適正に維持・管理するには大量の肥料も必要となります。こうした水やり、肥料などを誰がやるのか。学校だけに任せていては維持は難しい。他都市の成功事例を見ますと、生徒とPTA、地域が一体となって取り組む必要がありそうです。学校の芝生化は今後、検討に値する課題。引き続き、その可能性を探りたいと思います。



略歴
1977年生 32歳
2002年 早稲田大学大学院
理工学研究科修士
2002年 日経BP社入社
主に知的財産、環境、ITなどを
記者として取材
2007年 横浜市議会選挙
2008年 マニフェスト大賞
最優秀アイデア賞
受賞
2009年 マニフェスト大賞
最優秀成果賞
ノミネート

無所属クラブ 副団長
資源循環・環境創造委員会
委員
大都市行財政度特別委員会
委員

11月11日付の日経産業新聞で、インターネットを利用した私の活動が記事で取り上げられました。

Twitter（ツイッター）というサービスをご存じでしょうか。超簡易ブログと一般には言われています。オバマ大統領が政策発信に利用し、大統領選挙ではtwitterがあったから大勝利を収めたとさえ言われています。

日本でも今年の夏頃からブームとなり、国会議員を中心にtwitterの利用者が増えています。私はブーム到来のはるか前、2007年から利用している日本で最初のtwitter議員です。一度、<http://twitter.com/hirochan> にアクセスして頂くと、私がどんな情報を発信しているのか分かります。「ええっ？そんなことも？」と驚かれるかもしれません。

このサービスは議員と有権者の距離を近づける大変有力なツールになると私は考えています。今、政治に閉塞感を覚える一つの原因は「民意が反映されにくい」ことにあります。かつてのような組織選挙が成り立たず、いわゆる無党派層の声を代弁する仕組みがないのが原因です。

twitterの最大の特徴は「ゆるい」繋がり。個人情報的一切明かさなくても、議員と気軽にコミュニケーションを取れるのです。非常に緩い繋がりがウケているのです。

米国のように、「ゆるい」繋がりが政治を大きく動かす日が日本でもすぐそこに来ています。みなさんもぜひ、twitterを始めませんか？なかなか面白いですよ！！

クラウドが拓く

「私の国会での発言に反会中継を見ていたフォローに応じたつぶやきが3ヶターからのつぶやきが相次いで達した」。参議院議員の藤末健三氏は、米アップル製のスマートフォン（高機能携帯電話）「iPhone（アイフォン）」を片手に目を細めた。（一面参照）



アイフォンでフォローの反応をみる参議院議員の藤末氏

議員も次々情報発信

藤末氏は政治活動から日常生活までツイッターでつぶやく「ツイッター議員」の一人。9日、ツイッターを含むインターネットの選挙利用解禁について国会で鳩山由紀夫首相に質問。改革法案を可決したことを受けてのものだ。

オバマ大統領は同法案の支持をとりつける運動にツイッターを最大限活用。「法案支持を訴えるため」に計10万回電話する運動の主張を海外に発信し、世

リスクも顕在化

「議員も次々情報発信」の裏面には、議員の情報発信がもたらすリスクが顕在化している。伊藤氏は「議員も次々情報発信」の裏面には、議員の情報発信がもたらすリスクが顕在化している。伊藤氏は「議員も次々情報発信」の裏面には、議員の情報発信がもたらすリスクが顕在化している。

「議員も次々情報発信」の裏面には、議員の情報発信がもたらすリスクが顕在化している。伊藤氏は「議員も次々情報発信」の裏面には、議員の情報発信がもたらすリスクが顕在化している。

「議員も次々情報発信」の裏面には、議員の情報発信がもたらすリスクが顕在化している。伊藤氏は「議員も次々情報発信」の裏面には、議員の情報発信がもたらすリスクが顕在化している。